

のおがた SDGs推進プラットフォーム マッチング提案書

記入日 2026 年 8 月 30 日

①提案者の情報

会員番号	039
会員名	福島としゆき税理士事務所
担当者名	福島敏之
電話番号	0949-35-3456
メールアドレス	t.fukushima1969@gmail.com

②プロジェクト概要

1.目的 (取組む地域課題)	リユースびんの地域循環を持続させるための P 箱確保・循環プロジェクト 地域の酒店等から回収される一升瓶のうち、再使用可能なびんを回収し、リユースびんとして再び流通させる活動を継続しています。 一升瓶の回収・運搬・保管には専用の P 箱（プラスチック製通い箱）が必要ですが、現在その確保が困難となり、回収したびんを適切に保管・流通させることが難しくなりつつあります。 地域で発生する再使用可能なびんを廃棄せず、資源として循環させる活動を継続するため、P 箱の確保をはじめとした課題について、地域の企業・団体等との連携による解決を目指します。
2.達成したいゴール (ゴールNoを記載)	ゴール 12「つくる責任 つかう責任」 リユースびんの地域循環を継続し、廃棄物の発生抑制と資源の有効利用につなげます。
3.提案内容 場所、頻度、時間等 (具体的に)	地域の酒店等から回収した再使用可能な一升瓶を、継続的にリユースの流通へ戻すため、P 箱の確保や循環方法について協力いただけるパートナーを募集します。 ・使用していないP箱、余剰となっている P 箱等に関する情報提供 ・P箱の譲渡、貸与、循環利用等についての協力 ・P箱の保管、回収、運搬等に関する協力やアイデアの提供 ・その他、リユースびんの地域循環を継続するための新たな仕組みや連携方法の提案 P箱そのものの提供に限らず、物流、保管、情報提供など、幅広い方法での連携を希望します。場所・頻度・時間等は、参加いただけるパートナーと協議のうえ決定します。

4.プロジェクトによる成果	P箱不足によって回収が困難となるリユース可能な一升瓶を、再び流通へ戻す仕組みを維持できます。 また、一事業者だけで解決するのではなく、地域の企業・団体等がそれぞれの資源やノウハウを持ち寄ることで、地域における資源循環の新しい連携モデルにつながることを期待しています。
5.資金・物資	主に必要としている物資：一升瓶用 P 箱（プラスチック製通い箱） 数量や提供方法については、参加いただけるパートナーと相談のうえ検討します。 P箱の譲渡だけでなく、貸与、循環利用、保管・物流面での協力等についても検討可能です。

③参加パートナーへの期待

1.参加してほしいメンバー	・酒類、飲料、びん等の流通に係る企業・団体 ・物流、運送、倉庫等に係る企業・団体 ・リユース、リサイクル、資源循環に係る企業・団体 ・P箱を保有している、またはP箱に関する情報・ネットワークを持つ企業・団体 ・本取組に関心を持ち、解決方法を一緒に考えていただける企業・団体
2.想定しているメンバー数	特に限定しません。
3.メンバーへの期待	P箱の提供そのものだけを目的とするのではなく、それぞれが持つ物資、情報、物流網、保管場所、ネットワーク、ノウハウ等を活用し、リユースびんの地域循環を継続できる方法を一緒に検討していただきたいと考えています。
4.PR	福島としゆき税理士事務所では、地域の酒店等を巡回し、再使用可能な一升瓶等の空きびんを回収して、再び流通へ戻す活動も行っています。 空きびんは、回収して終わりではありません。必要な容器や物流の仕組みがあって初めて、再び資源として循環させることができます。 これまで続いてきたリユースびんの循環を次につないでいくため、企業・団体の皆さまと、それぞれができることを持ち寄りながら、新しい解決方法を見つけたいと考えています。

※行は適宜追加されてください。

※取組み内容を示す資料があれば別添にてご提示ください。